

“第53回 Kozoom サロン28の報告”

石原靖造

皆さん 今日はお疲れ様でした。皆さん協力のお陰で第53回 Zoom 会は無事終える事が出来ました。ここにお礼を申し上げます。

今月のサブテーマは“芸術の秋”でした。会に先立ち清水さんから“肖像作品を楽しむ”なるご自身の趣味の世界を詳しく紹介して頂きました。野口さんからは額田画伯独立展の事、又本場オペラ“ホフマン物語”を地元の映画館でご覧になった事を、中西さんからは“赤磐市はこのままで良いのか？”なる市民生活に資する数々の提言を挙げて頂きました。上記三件は是非お読み頂きたいと思います。

会本番では思い思いに各自の話題を語って頂きましたが、市政への提言の実現の難しさ、又白内障手術の事など話は盛り上がり、色々と参考にして頂ける事も多かったのではと思います。



本日の出席者は（敬称略）

写真上段左から 野口 石原 中西 二段目 林田 清水 松原

三段目 西川 小豆澤 千葉 計9名

本日参加頂けなかった皆さんには是非次回の参加をお待ちしています。

今回も入室に時間の掛った方や、入室出来なかった方も居られますので、技術面での解決策を野口さんにお願ひしましたので、次回は是非全員問題無く入室出来ます様願っています。

愈々後僅かで師走を迎えます。何かと忙しい時期に入りますが、どうか皆さんお身体にお気を付けになりお過ごし下さい。

年末に又お会いしましょう。 (完)

録画記録：<https://youtu.be/n-si0yHlEkg>

当日の司会と記録：石原 靖造

この会で西川様から中西様の市の行政への提言に関して、地方行政についてのご意見をいただきました。ぜひエッセイに書いて投稿してくださいとお願ひしました。早速書いてくださいましたので、ここに添付紹介します。

中西さんの赤磐市振興策に関しての意見

西川 浩一路

何時も KOZOOM のお世話頂き有難うございます。 28日中西さんの赤磐市振興策につ
つき、つい差し出がましく余分な発言をして失礼いたしました。

石破内閣の地方振興策に関し、11月26日の報道19:30で取り上げていましたので中
西さんの熱心な地元行政への熱意につられました。

同番組は YOU-TUBE で再生可能と思いますので、同番組を見て頂くのが誤解なく理解し
て頂けると考えますが、自分の見た内容の記憶と印象を次に書き留めます。

同番組の表題は“地方創成一失敗の ”だったと思います。 松原キャスターに出席者は元鳥
取県知事片山善博氏、元明石市市長泉房穂氏です。

103万円の所得の限度引き上げに関し地方税収の減収問題に関する諸議論の後、稀有の地
方活性化の成功事例として 岡山県奈義町 の少子化対策成功例と 熊本県高森町 の漫
画シリコンバレー構想 を紹介していました。

奈義町は生殖率1.41を2.95に引き上げに成功、他の市町村から子育て世代の移住を
実現していること、その財源を確保するため議員数を14から10に、職員数を110から
90に減らすなど身を切る施策を行っていること等紹介していました。

高森町は町内にある唯一の県立高校、高森高校が定員 80 に対し 20 名の生徒数で廃校になるのを防ぐため同高校に“マンガ学科”を新設し全国から志望者を募るとともに、日本の漫画文化を再振興するため外国からも入学者を募り世界の漫画文化センターを目指すものです。高校生徒数は 2022 年の 20 人から 2023 年 73 人に増加した由です。

両町とも自治体の長が自らの所見信念に基き、自らの努力と財源捻出で徒に国に頼ることなく施策を実現していることであまたの自治体の国依存、官僚主義方策に比し自らの自治体は自らが守るとの意思と努力に敬服した次第です。

地方振興と言えば企業誘致、その場限りの大型プロジェクト開催に終始する並みの発想に終わらず、その地の特性を生かした自らの地方創生でなくては永続的な地方の繁栄はないでしょう。熊本県も半導体産業の誘致に成功地元振興に期すべきものがあるのですが、大量に使用する水が阿蘇周辺の水資源を長期的には汚染地元の未来に対して本当の恒久的繁栄につながるのかといった、洞察も見え大いに考えさせられました。

東京都を筆頭に全国離島、僻地にいたる迄あまたの自治体がありますが、これの真に効率的な運営を可能にする体系的な学問、技術的論を追求する専門大学、ないしは学部が 1 つ位あっても良いと思うのですが、公企業経営論の講座はあっても専門学部のないのは、経営論は

やりの世の中としてはおかしいのでないかと考えます。

金儲けの企業経営論だけでなく、金を使う場合に如何に効率的に使うかを実現すれば、無暗に増税に走る順位は相当さがるのでないかと思えます。

トランプ、マスクのタッグによる行政効率化論はどここの国でも必要で誰にも依存はないですが、トランプ、マスクのタッグによるそれは当人たちの挙措言動からすれば如何にも危うく裏に隠れた自己利益確保の利益相反懸念を抱かざるを得ません。世界のこれからを思うと暗澹思いに至ります。

つまらぬ、説明で何か言い残している気分ですが、11月26日の報道19:30を観て頂き小生の気分判っていただければ幸いです。取り敢えずの編集長への回答とさせていただきます。

西川 浩一路